

令和7年度 チームアップ鈴が峰 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・積極的に情報発信を行うことで地域での認知度が高めることができた。
・地域課題のうち、高齢化問題を解決するため、「すずがみね文化のつどい」や各種サロンを開催し、今まで以上にふれあいの場を拡充することができた。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	夏まつりの開催	(6)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年8月2日	
(2) 実施場所	鈴が峰小学校	
(3) 参加者数	800人	
(4) 主催団体	団体名 チームアップ鈴が峰	
4 取組内容	鈴が峰地区の各種地域団体が連携して開催する三大まつりの一つである「夏まつり」を開催した。 ・ステージ発表（太鼓・バンド演奏など） ・各種地域団体が運営する売店 ・盆踊り	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	・幅広い世代の人が集い、地域内外の様々な方・団体に参加してもらうことで、人と人・団体同士のつながりを強化し、鈴が峰学区の活性化を図る。 ・地域に根付いた「夏まつり」の行事实施のノウハウを伝承していく。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	・幅広い世代の地域住民と地域団体、そして地域外の団体の人たちとの交流で、地域の活力醸成につながった。 ・多くの人に参加してもらうことで地域の良さを実感してもらい、「ふるさと鈴が峰」に愛着を持ってもらうことにつながった。	

1 事業名	すずがみね文化のつどいの開催	(6)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 10 月 19 日	
(2) 実施場所	鈴が峰小学校	
(3) 参加者数	300 人	
(4) 主催団体	団体名 チームアップ鈴が峰	
4 取組内容	鈴が峰地区の各種地域団体が連携して開催する三大まつりの一つである「すずがみね文化のつどい」を開催し、日本の伝統文化である神楽を鑑賞した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	・実際に伝統文化に触れることで豊かな心をはぐくむことを目的としている。 ・幅広い世代の住民が参加することで、住民同士・団体同士のつながりを強化し地域の活性化を図る。	
(2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	・伝統文化のすばらしさを実感し懐かしさを感じ、心の安らぎにつながった。 ・住民同士・団体同士の連携強化につながった。	

1 事業名	鈴が峰とんどまつりの開催	(6)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 1 月 11 日	
(2) 実施場所	鈴が峰会館前広場	
(3) 参加者数	500 人	
(4) 主催団体	団体名 チームアップ鈴が峰	
4 取組内容	鈴峯地区の各種地域団体が連携して開催する三大祭りの一つである「とんど祭り」を開催した。 ・とんどの組み立て、焚き上げ ・振る舞い（ぜんざい・甘酒・竹酒） ・ビンゴ大会 とんどまつりに先立ち、小学校の授業で「とんどまつり」の由来等の説明を行い、当日は年男・年女の児童が神社で祈禱したうえで、とんどのやぐらへ点火する「火」をいただいでくることで、小学生が地域の伝統行事へ関心を高めてくれるよう取り組みを行った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	・子どもたちが伝統的な文化に触れ、ふるさとを大切にする心を育むとともに、鈴が峰町のコミュニティ活動の振興を図る。 ・地域の伝統的な「とんどまつり」を準備から当日の運営まで地域住民で行うことで、行事実施のノウハウを継承するとともに、地域を盛り上げ活性化を図る。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	・地域住民・地域団体や幅広い世代の交流があり、地域の活力醸成につながった。 ・若い世代にまつりの運営やとんどの組み方などのノウハウを継承できたとともに、地域へ愛着をもってもらえた。	

1 事業名	防災訓練	(6)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 2 月 22 日	
(2) 実施場所	鈴が峰小学校	
(5) 参加者数	200 人	
(6) 主催団体	団体名 チームアップ鈴が峰、(協力：広島市西区役所)	
4 取組内容		
定期的な防災訓練を実施した ・避難訓練（車椅子・ペット同伴） ・避難所開設訓練（テント・ベッド・トイレ設営、受付・連絡） ・炊き出し訓練 ・小学生による防災学習の発表		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・鈴が峰地区は高齢者と坂が多く、災害発生時の避難が困難であるため、定期的な防災訓練の実施が必要であるため。 ・定期的に防災訓練を行うことで、地域住民の防災意識の向上を図るとともに、災害発生時にスムーズに避難できる体制をつくる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・事前に用意する物、家族内での決め事など、防災意識が高まった ・繰り返し行うことで（6年度も実施）前年より少し、避難や避難所開設がスムーズに行える体制に近づいた。		

1 事業名	ふれあい見守り事業	(6)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	通年	
(2) 実施場所	鈴が峰会館ほか	
(3) 参加者数	13,000 人	
(4) 主催団体	団体名 チームアップ鈴が峰	
4 取組内容	全地域住民を対象とした見守り事業 ・ふれあい・いきいきサロン（麻雀・カラオケ・体操など） ・子育て支援（子育てふれあい広場・おめでとう赤ちゃんなど） ・おひさまネット ・鈴が峰小学校とのふれあい事業（出前授業・さつま芋栽培・清掃活動）	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・全世代の地域住民が、健康でいきいきと暮らせるための居場所づくり ・子育て世代や一人暮らし、健康に不安のある人が、地域で安心して暮らし続けるためのネットワークづくり ・他世代間での積極的な交流 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・高齢者の健康維持だけでなく、多世代にも健康に対する意識の向上や住民同士での「顔の見える関係」づくりにつながった。 ・地域の人との交流やコミュニケーションを通じて、孤独感・閉塞感の軽減につながった。		

1 事業名	ふれあい・いきいきサロン推進事業	(6)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	通年	
(2) 実施場所	鈴が峰会館	
(3) 参加者数	500 人	
(4) 主催団体	団体名 チームアップ鈴が峰	
4 取組内容	定期的に全世帯を対象とした交流の場として、ふれあい・いきいきサロンを開催した。 ・「わがまち鈴が峰で元気に生きよう！」講座 ・クリスマス会	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	・住民の健康に対する意識の向上や住民同士が交流を図る場所とすること。	
(3) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	・健康に対する意識の向上や住民同士の交流に機会が増えた。 ・一人暮らしや引っ越して間がない人「ちょっと出かけてみよう」のきっかけになった。	

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容
	なし		